



全日本学生ヨット選手権大会団体戦 総括

お世話になっております。新4回生470クルーをしております神谷康成です。さて、団体戦本戦の総括ということで、一言でいうと非常に楽しいレガッタでした。本戦ならではの緊張感、1上マークの混戦、マーク際のルーム争いであったりと挙げたらきりがありませんが、その全てが自分にとっては新鮮で楽しいものでした。大きく分けて二つほど述べさせてもらいます。

一つ目は、サポートの重要性です。自分がレースメンバーとして沖に出る立場になり、陸のサポートがどれほど心強く、集中を保つ上で大きな支えになるのかを身をもって感じました。

二つ目は、この一年間の積み重ねで成績が決まるということです。振り返ると、「たら・れば」が尽きません。その「たら・れば」はもっと突き詰めれば、春合宿で寒さを言い訳にし、ワンタックワンジャイブ本気で取り組めていなかった時間数に起因するのかもしれませんし、インカレをイメージしきれていなかった自分の意識の甘さにも起因するのかもしれません。

代交代をし、91代のチーム目標は「総合3位」としました。代交代した11月中旬からスタートダッシュを決め、来年度の西宮インカレまで駆け抜けたいと思います。

団体戦本選 沖状況

お世話になっております。新3回生470スキッパーの藤田陽向です。今回は団体戦本戦の沖状況についてご報告いたします。団体戦本戦では、沖サポートとして上マーク船に乗り、サイドマーク付近の風向や風の傾向、潮の流れを計測する役割を担いました。毎朝早く出艇し、風や潮の状況を継続的に観測しながらその日のレースに向けた海面の特徴を把握するための情報を集めました。朝は風が弱く、AP旗が上がる日も多くありましたが、少しでもレースメンバーの役に立てばという思いが励みとなりました。葉山マリーナからの出艇だったため江の島に戻れない日もあり、部員と直接会えなかったり、ミーティングに参加できなかったりする場面もあり、インカレ特有の雰囲気を共有できない悔しさはありました。同じ船に乗るメンバー同士で励まし合い、気持ちを前向きに保つことができました。また沖での作業は大変なことも多く、周囲に迷惑をかけてしまった場面もありましたが、その度に周囲の人に助けてもらい、自分が多くの人に支えられていることを改めて強く実感しました。そして何より、インカレのレースを間近で見るという経験は格別で、京大のマークをつけたセールが上位でマークを回る瞬間や強豪私立校と並走しながら前を走る先輩方の姿は本当にかっこよく、自分自身もインカレの舞台で戦いたいという思いが一層強まりました。

今回の経験を糧に、これからもチームの一員として成長していきたいと思います。

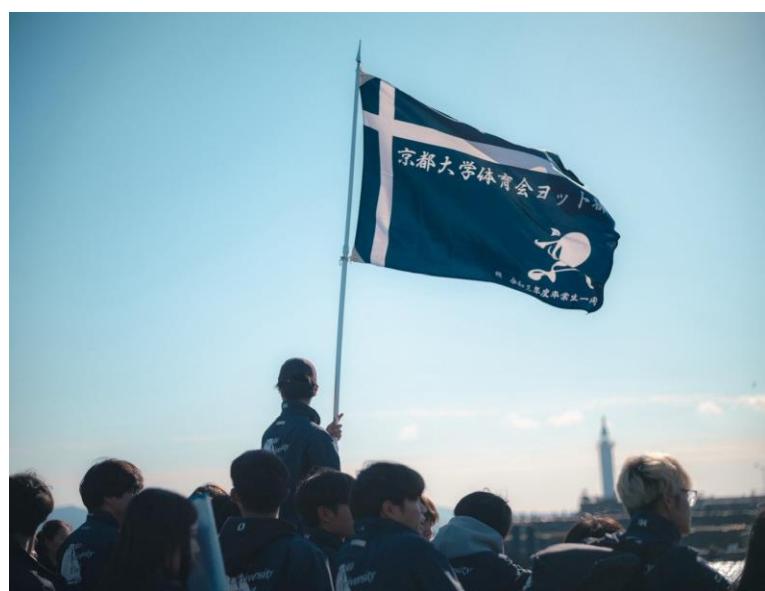


団体戦本選 陸状況

お世話になっております。今年のインカレ団体戦の陸隊長を務めさせていただきました、新3回生スナイプスキッパーの奥山蒼空です。10/31～11/3にかけて開催された全日本学生ヨット選手権大会について、陸サポート目線から報告させていただきます。

今年の陸サポートは、「1人1役職はこなす」「アルファベットをつけない」ことを目標としました。その目標のもと、陸にいる部員1人1人が、自分にできる役職を考え、レースメンバーの荷物を整頓したり、沖の支援艇から伝えられる潮や風の情報などをまとめたり、トラッキングによるコース分析をし、陸メンバーから沖メンバーに伝えたりと、レースメンバーの手助けをするサポートを陸からできたと思います。私は七大戦、インカレ予選と陸隊長をしてきましたが、陸サポートによるミスをしてしまっていました。ですが、インカレ団体戦では、そこからの反省を元に陸サポートを改善し、このインカレ団体戦ではミスを一つもせずに今年引退される90期のみなさんにも最高の舞台を用意できたのではないかと考えています。これが実現できたのは、自分にできることは何かを考え、自発的に行動してくれた陸サポートのメンバー、忙しいながらも一緒に改善点を考えてくださった沖メンバーのおかげです。ありがとうございました。

来年のインカレに向けて、これからも部員一同精進してまいりますので、ご支援ご声援のほどよろしくお願ひいたします。



代交代式 90s to 91s

お世話になっております。新4回生マネージャーの青田聰史です。先日、第90代インカレが終了し、90期が引退いたしました。これに伴い、11月8日に代交代式を執り行われましたので、ご報告いたします。僕が1回生で入部して以来、ヨットの基礎からご指導いただいた90期の先輩方には、心より感謝申し上げます。先輩方の引退スピーチを聞くうちに、90期が築いてくださった基盤の上で、僕たちが絶対に総合3位の目標を達成するという決意が、一層強くなりました。今91代は「総合3位」を目標に、「一蓮托生」のスローガンのもと、1年間努力してまいります。私自身、今期よりマネージャーに転向し、サポートの立場となりました。プレイヤー時代の経験と知識を後輩に引き継ぎつつ、レスキューの運転技術などを鍛え、「日本一のマネージャーチーム」を目指します。総合3位達成のため、少しでも貢献できるよう邁進いたしますので、温かいご声援のほど、よろしくお願ひいたします。



秋季団体戦予選

お世話になっております。新2回生470クルーの三原将です。今回は11月プレプレの様子をご報告させていただきます。新2回生にとっては新人戦に次ぐ2回目のレースだったので緊張している人や楽しみにしている人様々でしたが、私はどちらかというと緊張よりも楽しみながらレースに参加できました。レースに関しては1日目の午前だけ風があり、1レース目の最後の方は風が落ちてしまったのですがなんとかレース成立となりました。その後は午後も風がなく、2日目も風がなかったので結局最初の1レースだけになってしまいました。レース数としては少なく残念でしたが、1レースの重みを感じることができいい経験になったなと思います。またレース海面までの移動の際にはレスキュー艇に曳航をしてもらったり、レース前後では風や海面の情報を共有したりして、改めて周りのサポートや仲間との助け合いが大切であることを実感しました。さらに運営の方々など目に見えない所でも多くの人に支えられてレースは成立していることに感謝して、これからも精進してまいりたいと思います。



12月ポイントレース

お世話になっております。新2回生スナイプスキッパーの中田智也です。12月6日に行われたポイントレースについてご報告させていただきます。当日は朝の段階では予報通りほとんど風が吹いておらず、出艇後からしばらくの間は沖で風待ちの時間が続きました。しかし、昼前ごろになると南からの風が入り始め、最終的に1レースを行うことができました。11月のポイントレース、プレプレでは合計1レースしか行えていなかったこともあり、今回のレースは多くの部員にとって、実戦の中でこれまでの練習の成果を確かめる貴重な機会になったと思います。私自身にとっても、普段の練習で意識してきたことを実際のレースの緊張感の中で再現することの難しさを強く感じました。同時に、判断力や技術面などにおける自分の未熟さを改めて認識し、今後の課題が明確になったレースでもありました。今回得た反省を今後の練習にいかし、さらなる成長につなげていきたいと思います。また、着艇後にはハーバーでバーベキューが行われ、他大学の方々と交流する貴重な機会となりました。



部員リレーインタビュー



snipe クルー
今井晴大

北海道札幌南高校出身。地元愛が強く、好物は味噌ラーメン。音楽、漫画などサブカルへの幅広い知識を持っている。93期では随一のハイアウト力を誇るこの男はこれからもヨット部をキープフラットしてくれるだろう。

思い出のレース 平日の過ごし方

まだ新人戦とプレプレしか経験できていませんが、特に印象に残ったのは新人戦です。交代もあってレスキューに乗っている時間も多く、レースの雰囲気を感じることができました。雷も鳴る中、沈艇も続出し、過酷だった記憶があります。

水曜日と金曜日は塾講師のバイトで夜まで忙しいですが、それ以外の日は家でゲームしたりします。午前休が多いにもかかわらず、早起きして何かしら活動しがちです。この習慣、続けていたらいいなと思ってます。

尊敬する先輩

和田さんです。琵琶湖のスナイプリーダーとして、我々をまとめてくれてほんとに感謝しかないです。それ以外にも個別の問題にも対応してくれて、一番真摯に向き合ってくれると自分は思っています。怪我して自分が乗れない中、部活に来続けているその気力に尊敬です。

これまでの部活を振り返って

もうホッパー期間のことは全く記憶に残っていないくらい、充実した5ヶ月を過ごしていると思います。夏合宿では5連続で早起きすることにうんざりした時もありましたが、大学に入つてから最も充実した2ヶ月でいい経験でした。これからレース等も増えていくと思うので、練習の成果を発揮できたらなと思います。



snipe スキッパー
後藤颯太

91代の未来を担うスーパー未経験スキッパー、通称ごていー。後輩大好きなごていーはミーティングで誰よりも楽しそうに話している。また、無意識のうちにセクシーポーズを繰り出す癖があり、度々男子部員魅了している。

思い出のレース

思い出のレースは10月の滻港で行われた団体戦予選です。自分にとっては初めての団体戦で緊張もありましたが、エールを貰った時は本当に嬉しくてやる気が満ちてきました。結果こそ芳しくなかつたものの、絶対に今後の団体戦に出てやるという気持ちを持ちました。

平日の過ごし方

平日は主に週3回ある学生実験およびそのレポート作成に追われています。3回生になり授業の内容や課題も難しくなり、あまり時間がない中ではありますが、できるだけ平日も自主練に参加するようにしています。

尊敬する先輩

尊敬する先輩は嶋さんです。去年1年間スナイプリーダーとしてチームのことをまとめあげていたのが本当にすごいです。夏遠征期間ではリーダー業に追われながらも楽しそうに、でも真剣にヨットに乗る姿を見てかっこいいなと思いました。

これまでの部活を振り返って

ここまでの3年間は毎日が充実していて本当にあったという間に終わりました。特に昨年の夏遠征はどの大学よりも練習し、本当にヨットのことだけを考える期間になりました。今までではなかったくらい疲れましたが、楽しい時間になりました。

思い出のレスキュー

お世話になっております。新2回生マネージャーの二宮基です。私の思い出のレスキューは藻に絡まって身動きが取れなかつヨットを救出したときのレスキューです。その日もいつものように藻に絡まっただけだと思っていたのですが、よくみると周りにはえり(漁場)があり、かつ藻の大群の中にいるヨットが複数いました。早く救出しなければならない中、レスキューのプロペラも藻に絡まるので、藻を取り、エンジンもオーバーヒートしながらのレスキューだったので大変でしたが、いい経験をさせてもらえたと思います。これからも困難な状況にあってもひとつずつ乗り越えて成長していきたいと思います。



思い出のマネ飯

お世話になっております。新2回生マネージャーの鈴木優奈です。私の思い出のマネ飯は、デミグラスマタルタルハンバーグです。某チェーン店の月見ハンバーグを参考に、1から作った2種類のソースをかけました！プレイヤーからたくさんの褒め言葉をもらえて嬉しかったです。また、旧4回生のマネージャーを中心に、Instagramに掲載するリール動画を作成したことも記憶に残っています。ぜひお時間のある際にマネ飯アカウントからご覧ください！



休日の過ごし方

お世話になっております。470スキッパーの畠中響です。今回は、休日の過ごし方についてお話しさせていただきます。一年前にも同じテーマで記事を書かせていただいたのですが、過ごし方はほとんど変わってませんでした。

変化といえば、最近読書を再開したことです。大学生になってから読書から離れていたのですが、なんとなく生協で小説を購入したことをきっかけに読み始めてみると、やはり面白く、今は平野啓一郎さんの『マチネの終わりに』を読んでいます。

平野啓一郎さんの作品では、『本心』や『ある男』など有名どころは読んでいますが、特にお気に入りなのは『分人』です。対人関係において日頃感じていた疑問に対する作者の解釈に強く共感でき、胸にすとんと落ちるような納得感があります。

もう一つのお気に入りは、原田マハさんの『楽園のカンヴァス』です。芸術×ミステリーという独自の組み合わせが魅力で、一度読み始めるとページをめくる手が止まりません。





SOYOKAZEが拓く、 持続的なセーリング支援の新章



他にも公式のインスタグラムのアカウントとは別に、今まで作ってきた紹介しきれないほどのたくさんのおいしいマネ飯を発信しているインスタのアカウントがあるので、是非そちらもご覧ください！
右のQRコードを読んでいただくな
https://instagram.com/kuyc_food?igshid=MzRlODBiNWFZA==
こちらのリンクから飛んでいただけすると閲覧可能です。

この度、2025年12月18日をもちまして、本学ヨット部支援のための新たな礎となる「SOYOKAZE記念基金」が正式に発足いたしましたことをご報告申し上げます。本基金は、昭和60年卒業の小島秀一様のご厚意により、株式をご寄附いただいたことで実現いたしました。国公立大学の課外活動支援において、株式による寄附の受け入れは史上初の事案であります。小島様自ら大学当局と協議を重ねられ、株式の配当金を継続的に「京大ヨット部活動支援基金」へ繰り入れるという、安定的な支援スキームを構築してくださいました。

「SOYOKAZE記念基金」には、現役部員が卒業後も何らかの形でセーリングに関わり続けてほしいという願い、そして経済社会の仕組みを肌で感じ、将来の進路選択の一助にしてほしいという小島様の想いも込められています。

この多大なるご支援に対し、部員一同および関係者一同、心より御礼申し上げます。我々現役部員は、本基金によって強化される支援体制を真に有効に活用すべく、改めて財務規律を厳正に保持し、悲願の全日本インカレ総合三位の目標達成に向け精進してまいります。今後とも、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。



京都大学体育会ヨット部
滋賀県大津市鏡が浜番外地
京大ヨット部艇庫
[[hp] <https://www.kuychome.com/>

[mail] kuyc.contact@gmail.com

https://twitter.com/kuyc_

<https://www.facebook.com/kyotosailing/?fref=ts>

https://www.instagram.com/kuyc_food/?hl=ja